

令和6年度事業報告

公益財団法人仙台ひと・まち交流財団

1 地域コミュニティの振興・支援等を行い、住みよい地域社会の実現に寄与する事業

【公1】費用：5,548,288千円

(1) 生涯学習によるコミュニティの振興及び関連活動の支援事業

(定款第4条第1項第3号及び第5号の事業)

市民センターを核とした生涯学習事業等の実施や移動図書館車による図書サービスの提供などを通して、地域での交流を促進し、主体的な活動を行う団体や人々を支援することで地域づくりを行った。

① ライフステージに合わせた生涯学習事業

育児期や青年期、高齢期などのライフステージや、社会の変化に伴って生じる高齢化、安全・安心など、様々な課題に応じた学習機会を提供し、必要な知識や対応力等を身につけることができる事業を実施した。

(事業例)

- 小学生がふるさとの自然を学び魅力を知ることで、郷土愛を育む講座
高砂市民センター「蒲生干潟観察会」
- 地域の子育て団体と連携し、地域全体で協力して子育てを支援する講座
落合市民センター「親子でつながるぴよぴよフェスタ」
- シニア世代を対象に介護予防のための作業療法の体験や軽体操等を学ぶ講座
長命ヶ丘市民センター「みんなでアップ！健康寿命」

② 市民参画推進事業

市民が自ら学ぶことにより地域で主体的に活動し、学習成果を発揮できるよう、「学び」「交流」「行動」のあり方について参加者の意見が反映されるように工夫しながら、市民参画を推進する事業を実施した。

(事業例)

- 講座の受講生から発足したボランティアグループが案内人となり、自ら学んだ地域資源についてのまち歩きを実施した講座
泉区中央市民センター「まちを知る 七北田を歩くー地域いきいきプロジェクトー」
- 中学生企画員が地域の魅力発信と活性化のために企画した講座
鶴ヶ谷市民センター「あつまれ！！杜のフェスティバルin鶴ヶ谷」
- おやじの会や町内会などで活躍されている方が企画員となって、地域の子どものたちのために企画した講座
若林区中央市民センター「ワイワイ！子どもまつり」

③ 地域に関心を向ける事業

地域を見直し、関心や愛着を持つきっかけを作るために、歴史、自然、行事などの地域の資源や素材を生かした事業を実施した。また、地域団体や学校等との連携を通して、地域住民同士の顔の見える関係づくりにつなげ、地域の状況や地域活動へ関心を向けるきっかけづくりとなる事業を実施した。

(事業例)

- 小学生の企画員がまち歩きで地域の魅力に気づくと共に、インタビューや見学等を通して地域住民と交流する講座
木町通市民センター「木まち たんけん隊」
- 地域防災講座
西多賀市民センター「手をつないで考えよう防災・減災」
- 伝承文化を地域に広める講座
柳生市民センター「柳生和紙を知ろう」

④ 地域で活動する人材の育成事業

自らの学習成果を生かして、ボランティアとして地域で活動できる人材を育てる事業を実施するとともに、これらの活動が継続できるよう支援した。

(事業例)

- 折り紙ボランティア養成講座
片平市民センター「折り紙ボランティア養成講座『折り紙の和・地域の環』」
- 地域ボランティア養成講座
榴ヶ岡市民センター「東口ガイドボランティア養成講座・公開講座」
- 図書ボランティア養成講座
幸町市民センター「図書ボランティア養成講座」

⑤ 世代を超えた地域の交流事業

世代を超えて、気軽に参加できるイベントや体験活動を通して、地域住民同士の交流や地域活動の推進につなげる事業を実施した。

また、地域住民同士の交流を通して、次世代を担う子どもたちを地域ぐるみで見守り育てる体制づくりや、地域防犯・防災体制の強化につながるよう取り組んだ。

(事業例)

- 市民センターまつり
- 小学生の実行委員が地域住民の協力を得ながら企画・実施する事業
沖野市民センター「進め！沖野ひまわりプロジェクト」
- コンサート
山田市民センター「山田音楽祭」

[コミュニティ振興のための生涯学習事業の実績 (①～⑤の合計)]

	講座等		
	6年度	5年度	前年度比
事業数	706	715	98.7%
回数	3,105	3,135	99.0%
延べ参加者数	190,306	177,486	107.2%

※講座等…予め日時、回数等を決め、参加者を広く募集して行う主催・共催の講座等

⑧ 地域情報等の収集・提供及び相談事業

地域にある様々な資源（歴史、文化、自然、行事、施設等）や地域で活動する人材・団体情報、生涯学習関連の情報などを収集し、地域住民等へホームページ及び広報紙などで提供した。

また、それらの情報をもとに市民の主体的な学習や活動の相談に応じた。

⑨ 移動図書館車による図書サービスの提供事業

■ ライフステージに合わせた図書の紹介及び読書活動の推進

図書館を利用しにくい地域を中心に、市内 77 か所の巡回先を 2 週間に 1 回の周期で巡回し、図書サービスを提供した。

図書を積載するに当たっては、全世代の利用を想定してより多くの分野の選書を心掛けながらも、利用が多い子育て世代やシニア世代のニーズに即した図書の充実を図った。

また、季節や行事等に合わせた特設コーナーを設け、利用者の読書の幅が広がるきっかけづくりとなる取り組みも行った。

[移動図書館事業実績の推移]

項目	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度比
利用者数 (人)	19,585	19,413	100.9%
貸出冊数 (冊)	102,908	103,041	99.9%
レファレンス数 (件)	287	197	145.7%
予約件数 (件)	8,879	8,997	98.7%
運行日数 (日)	225	225	100.0%
巡回数 (回)	1,731	1,727	100.2%
1回当たりの利用者数 (人)	11.3	11.2	100.7%
1回当たりの貸出冊数 (冊)	59.5	59.7	99.7%
1人当たりの貸出冊数 (冊)	5.3	5.3	100.0%

■ 移動図書館車を臨時の拠点とした地域住民の交流の場づくり

地区社会福祉協議会等の地域団体と連携を図り、巡回先で開催されるサロン等イベントの場を利用して移動図書館の事業案内等を実施し、利用促進の働きかけや、交流の場を創り出した。併せて、「みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム」等、幅広い世代が集まるイベントに参加し、移動図書館車両の展示や図書の貸出等を通じて認知度向上に努めた。

■ 学校行事や地域イベントとの連携を通じた読書習慣の浸透と利用者の増加

市内の小学校が実施する公共図書館利用学習の施設見学で、図書館の施設案内と併せて移動図書館の基地案内を行ったほか、遠隔地の小学校等を対象に移動図書館学習会を実施し、借り方体験等により、児童の図書館に関する理解度向上と読書推進、利用促進に向けた取り組みを行った。巡回先になっている市民センター等財団運営施設に対しては、施設イベントでの移動図書館車両の展示や、移動図書館事業啓発用ポスター掲示、チラシ配布により、財団のネットワークを活用した取り組みも行った。

(2) 児童の健全育成による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第4号の事業)

地域における遊びを通じた子どもの健全育成や子育て支援のネットワーク拠点として、地域諸団体等と連携しながら、児童の健全育成、子育て家庭支援、地域交流推進、放課後児童健全育成の4つの機能を果たすために、地域性を踏まえた児童館事業に取り組んだ。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊び場の提供に加え、遊びの支援や各種行事等を通して児童の健全育成を図った。

ア 子どもの自主性や協調性を育てる事業

子どもが自ら考えて遊びに取り組むことで自主性を培い、集団の遊びを通して相手を思いやる心や仲間との大切さなど、協調性を育む事業を実施した。

(事業例)

- 子どもたちによる行事の企画・運営や地域の大人たちとの懇談
栗生児童館「あいあいリーダーズ」
- 子どもたちが企画・運営するおまつりに地域のこども園の園児を招待した遊びを通じた交流行事
東部児童館「ミニ縁日交流会」
- 中学生が主体となって企画し、小学生に卓球やバドミントンを教えて異年齢交流を図る行事
館児童センター「教えて中学生」

イ 親子の交流事業

親子の交流を通して、親子での触れ合いや子どもの成長を喜びあう機会など、親としての成長と子どもの成長を育む事業を実施した。

(事業例)

- 広瀬文化センター、落合市民センターと連携して、映像パフォーマンス集団「白A」と親子で様々な技を体験する行事
栗生児童館「わくわくキッズアカデミー」
- 学区を越えて幼児親子の交流を図る行事
将監児童センター・将監児童館・将監西児童館「ドキドキタイム」
- 宮城野区内5館連携による乳幼児親子向けの親子交流イベント
高砂・田子・中野栄・福室・岡田児童館「ちびっこひろば」

ウ 広域利用促進事業

■ 第11回 ひと☆まち児童館フェスタ～遊びでつながる・ひろがる親子の輪！～

児童館の日常の活動を発信して親子の利用促進を図るため、家族で楽しみながら児童館の様々な活動を体験できる場として開催した。遊びを通して楽しみながら親子交流や異年齢交流のできる児童館合同行事として企画した。当日は市内各区から親子が集い、全市的な児童館行事として、笑顔あふれる賑わいとなった。

- ・実施日：令和6年7月21日(日)
- ・会場：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア

- ・ 来場者数：1,497名 ※入場自由
内訳) 乳幼児449名、小学生258名、中高生2名
保護者649名、一般139名
- ・ 協 力：荒井児童館 (NPO 法人アスイク)
仙台白百合女子大学子ども教育学科

② 子育て家庭支援事業

親子を対象とした行事や幼児クラブの開設、子育て相談、子育てサークル等の育成などにより、子育て家庭への支援を行った。

ア 乳幼児親子の交流事業

親子のふれあい遊びや保護者、乳幼児同士の交流を通して、心身の成長を図りコミュニケーションをとりながら友だちづくりができるよう、発達段階に応じた活動や異年齢交流の事業を実施した。

(事業例)

- 夏休み期間中に小学生が乳幼児親子を対象に企画した異年齢交流行事
長町南児童館「ちびっこ夏祭り」
- 0歳児親子を対象にふれあい遊びや育児講座を定例開催したほか、父親同士の交流を促すため、夏休みの土曜日にも開催した親子交流行事
黒松児童館「くまっちー0」
- 東北生活文化大学高等学校の生徒や読み聞かせサークルの協力をいただきながら、季節の遊びや工作、運動遊びを通じて親子間の交流を行う定例行事
虹の丘児童センター「幼児クラブ なないろにゃんちゃん」

イ 育児情報の提供及び育児相談事業

児童館を拠点に民生委員児童委員や保育士、地域の子育て経験者などと連携し、保護者が子育ての悩みを抱え、孤立することのないよう、育児相談や学習の場として、子育て家庭への支援を行った。

③ 地域交流推進事業

地域との連携事業の実施や交流活動を通して地域コミュニティの活性化を図るとともに、子育て支援クラブや子ども会などの児童館を拠点に活動する、児童の健全育成を図る団体の育成支援を行った。

ア 子どもと地域の交流促進事業

地域や世代を越えた交流を通して、地域を学ぶ機会や相手に対するいたわりの心を育むなど、社会性を育てる事業を実施した。

(事業例)

- こども食堂などと連携し、乳幼児親子から小中学生、シニア世代が一緒になり100人前のカレーを作る、食を通じた地域交流行事
桜ヶ丘マイスクール児童館「世代を超えて、みんななかよし」
- 地域の交通安全協会の協力のもと、お寺での座禅体験、神社での歴史散策、商店での歴史講話などの地域探訪行事
岡田児童館「岡田探検隊」

- 小学生で結成するパフォーマンスチームが、敬老会や地区まつり、老人福祉センターのステージにおいて、ダンス・けん玉等を発表し地域交流を図る活動
沖野児童館「ミックスナッツ」

イ 子育て関係団体支援事業

児童健全育成に理解、関心を持つ地域住民、子育て支援団体（子育て支援クラブ、読み聞かせボランティア等）、子ども会育成会などの関係機関や地域の人材、中高生などとの日常的な関わりや連携を強化するために、児童館がこれらの子育てに関わる活動の拠点となり、協力関係を構築、推進する事業を実施した。

（事業例）

- 民生委員児童委員の方々と連携した小学生向けの昔遊び行事
大和児童館「民児協DAY」
- 子育て支援クラブの企画と連携した子育て中のママのリフレッシュを図る定例行事
東中田児童館「パンプキンデー」
- 子育て支援クラブや人形劇サークル、読み聞かせボランティアと連携した定例行事
将監児童館「かっきー広場」

④ 放課後児童健全育成事業

就労等により放課後等に保護者が家庭にいない小学生の児童を対象に、児童館・児童センターにおいて「遊びの場」「生活の場」を提供し、健全育成を図った。

[児童クラブ登録者数等]

(単位：人)

	令和6年度 (78館)	令和5年度 (80館)	前年度比
登録者数	9,431	9,508	99.2%
延長登録者数	2,821	2,775	101.7%

※登録者数・延長登録者数は、4月1日現在の人数

⑤ 児童館・児童センター運営事業

子どもが安全・安心に過ごし、遊びや集団活動を通して豊かな経験と成長を育み、お互いを仲間として尊重しあい成長していくことができるよう、ソフト・ハード両面においての環境整備に取り組んだ。

[児童館・児童センター来館者数]

(単位：人)

	令和6年度 (78館)	令和5年度 (80館)	前年度比
幼児	77,792	74,275	104.7%
小学生	1,459,885	1,364,223	107.0%
中学生	12,420	7,327	169.5%
高校生	1,357	1,077	126.0%
その他	101,266	95,412	106.1%
合計	1,652,720	1,542,314	107.2%
1館1月平均	1,765.7	1,606.6	

⑥ 大会・研究集会の開催

■ 第7回 ひと☆まち児童館フォーラム in 仙台～遊びが子どもを育てる～

児童館職員が中心となって子どもを取り巻く地域環境を展望しつつ、児童館の基本に立ちかえり、児童館の今日的役割について、所属や地域を越えて共に学び・考える場として開催した。県内外に広く参加を呼びかけて、児童館職員による主体的な自己研鑽の機会となった。当日は動画によるライブ配信を行い、多様な参加形態を設け、全国に発信した。

- ・実施日：令和7年2月23日(日)
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・来場者数：157名 ※事前申込制
- ・ライブ配信：視聴回数 172回 最大同時接続数 50端末
- ・基調講演「健やかな育みのために ―子どもにとっての遊びの重要性―」
講師：国立大学法人 山梨大学 学長 中村 和彦
- ・トークセッション
中村講師と児童館職員4名が登壇し、具体の事例を共有しながら、子どもにとっての遊び・運動遊びについてトークを繰り広げた。

(3) 地域文化活動振興による地域コミュニティづくり支援事業

(定款第4条第1項第2号の事業)

戦災復興記念館及び文化センターでは、施設管理の業務にとどまらず、地域の文化や特性などを生かした多様な自主事業を展開し、市民の文化・芸術活動を通じた地域づくり、未来を支えるコミュニティづくりの発展に積極的に取り組んだ。

① 地域文化創造事業

住民の地域への誇りや愛着を深め、地域社会の連帯感を高めるため、共通のよりどころとなる地域の歴史、風土等に培われた特色ある伝統的な文化を生かした事業を実施した。

また、地域住民や各施設の利用者などと連携し、地域から新しい文化芸術活動を創造し、発信するための事業を実施した。

(主な事業)

ア 戦災復興記念館

■ 街なかコンサート【第6回】

「せんくらファミリーコンサート 響け！コーラス！戦後日本を勇気づけた歌」

仙台クラシックフェスティバル 2024 の関連事業の一環として、より多くの地域の方々にクラシック音楽の魅力をお届けすることを目的に開催した。

- ・日時：令和6年9月8日(日)
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出演者：せんくら街なか合唱団／指揮者 原田博之
- ・入場者数：210名

■ 仙台いぐすか寄席【第4回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2024】

世代を超えて気軽に寄席を楽しみ、笑いを共有できる場の創出を目指し、仙台に縁のある落語家などを迎えて開催した。

- ・実施日：令和6年11月10日（日）
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出演者：六華亭遊花、ニードル、春風亭与いち
- ・入場者数：延べ402名（午前の席245名、午後の席157名）

■ 戦災復興記念館コンサート 2025 春風メモリアルコンサート【第1回】

ステージで発表することが記念（メモリアル）となるよう、地域の小学校などの子どもたちやステージ発表の経験がない個人、グループを募り、演奏にこめた思いを紹介しながら、出演者、来場者がともに早春にふさわしい暖かい音楽を感じることできるコンサートを実施した。

- ・実施日：令和7年2月16日（日）
- ・会場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・出演団体：10団体（片平おことクラブ、立町児童合唱団 他）
- ・入場者数：212名

■ 歴史ミュージアムネットワーク（通称：歴ネット）

仙台市内にある9つの歴史・文化系の施設で結成した歴ネットは、仙台の歴史・文化に親しんでもらうために、解説シート「歴ネットシート」の作成やイベントを行っており、その一環でスタンプラリーイベントや伝統門松の展示等を実施した。

また、SMMA ミュージアムユニバース クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」にも参加した。

イ 宮城野区文化センター

■ ワンコインコンサート

【ひと☆まち CONNECT selection program2024】

地域住民が手頃な料金で、クオリティの高い音楽に親しめるよう、平成25年度からシリーズ化して実施している。夜間の催事に足を運びづらい方にも気軽に来てもらえるよう、平日昼間に開催した。

	実施日	出演者
第56回	令和6年5月30日(木)	星律子（マリンバ） 熊谷昇子（マリンバ） 前田秀明（マリンバ） 田村日和（マリンバ）
第57回	令和6年8月1日(木)	佐藤瑛利子（ソプラノ） 佐藤明子（メゾソプラノ） 佐藤淳一（テノール） 澁谷るり子（ピアノ）
※第58回	令和6年9月19日(木)	三宅進（チェロ） 吉岡知広（チェロ） 中村隆人（チェロ） 金子遥亮（チェロ）
第59回	令和7年1月30日(木)	築田ちゆり（クラリネット） 榎本未来（ピアノ）

- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：延べ1,336名（全4回）

※（公財）仙台市市民文化事業団と共催で「仙台クラシックフェスティバル（せんくら）」のプレイベントとして、「せんくら街なかコンサート ワンコインコンサートシリーズタイアップ Be Ambitious! Cello Heroes!」として開催した。

■ ワンコインシアター

演劇やリーディングを気軽に味わうことができるパトナシアターならではのステージイベントとして、令和2年度からシリーズ化して実施している。公演内容は、演劇や文学に馴染みが薄い方々にも楽しめるものとし、仙台の演劇人等の活躍の場を広げるとともに、言葉の芸術に親しむ市民のすそ野を広げていくことを目指した。夜間の催事に足を運びづらい方や、日中働いている方や学生の方にも来場してもらえよう、昼間と夜間の2回公演で開催した。

- ・実施日：令和6年6月13日(木) vol.15「飛び花座 宮城野寄席」
令和6年10月19日(土) vol.16 朗読「永訣～あの日のわたしへ
手紙をつづる～」
令和6年12月19日(木) vol.17 演劇「異邦人の庭」
令和7年2月23日(日・祝) vol.18 Reading Stage「ポリエステル伝導」
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・入場者数：延べ1,172名（全8回）

■ 室内楽セレクション“Music from PaToNa”【第11シーズン】

パトナホールは、優れた残響特性を持ち弦楽器等の音色が美しく響くことや、客席数の規模などから、“室内楽”ジャンルに適したホールとして演奏家の間で高い評価を得てきた。文化センターでは、響きの良いホールで良質な音楽を、低廉な料金で提供する機会を設け、地域住民への文化芸術の普及、及び関心を高める契機とするための室内楽コンサートを年4回開催した。併せて、関連イベントとしてオープンゼミナールや音楽を学ぶ学生たちにアンサンブルのポイントをレクチャーするアンサンブル・アカデミーなどを開催した。

11th Season

- ・実施日：令和6年4月25日(木) vol.39「こうさする」
令和6年7月5日(金) vol.40「うまれる」
令和6年11月7日(木) vol.41「あふれる」
令和7年2月5日(水) vol.42「そよぐ」
- ・会場：宮城野区文化センター コンサートホール
- ・入場者数：延べ997名（全4回）
- ・関連イベント：オープンゼミナール（年4回）
公開リハーサル（年1回）
アンサンブル・アカデミー（年1回）

■ 震災復興交流事業「あなたのオモイ それぞれのカタチ」【第13回】

宮城野区が東日本大震災で大きな被害を受けたことを踏まえ、震災復興に携る団体や地域住民とともに、多様な表現による震災の記憶の伝承と交流の場となるような事業を協働で開催した。

- ・実施日：令和7年3月1日(土)
- ・入場者数：延べ396人

コンサート	1公演	総入場者数：180名
朗読会	1公演	総入場者数：150名
講演会	1企画	総入場者数：66名

■ ワークショップ事業 演劇ワークショップ「みやぶん演劇学校」【第12回】

参加者が演劇を体感することにより、自分の体に潜む感覚、感性に気づき、表現を発見し、その体験を通じて日常生活を豊かにするきっかけづくりのひとつになることを目指して演劇ワークショップを開催した。様々な世代の方が参加することによって普段できないつながりを感じ、芸術を通しての“非日常感”を実感することにより、文化芸術をさらに好きになってもらうことも目的とした。

- ・実施日：令和6年12月3日(火)、5日(木)、9日(月)、16日(月)、20日(金)
- ・会場：宮城野区文化センター リハーサル室
- ・講師：紅絹（もみ）（ファシリテーター）
佐藤舞織（アシスタント）
- ・参加者数：延べ62名（全5回）

■ 宮城野うたまつり【第9回】

「歌のチカラでみんな元気に！」という趣旨のもと、地域（宮城野区）の発展と交流そして復興を願いながら、地域の合唱サークルを中心とした合唱祭を市民センターと共催で開催した。

- ・開催日：令和6年9月7日(土)
- ・参加団体：16団体
- ・入場者数：208名

■ みんなの広場づくりプロジェクト【第12シーズン】

地域の方々の交流の場となる「みんなの広場」としての空間づくりと、創造性豊かな子どもの育成、区内の若い世代による創作及び普及活動の支援を目的として文化センター内外に飾り付けを行った。

- ・実施回数：年6回

(主な展示等)

□ 「空間のアトリエ」

地域の保育園、幼稚園、児童館の協力を得て、こいのぼりや七夕吹流し、ウィンターツリーなどを作製し、吹抜けに展示した。併せて、施設の利用者にも「つながるこいのぼり」や「願い星飾り」、「冬のガーランド」を作製してもらい展示した。

□ 「お花をいっぱい咲かせよう」

併設施設の原町児童館の児童と一緒に、文化センター前広場に設置しているプランターの植物の植え替えを行った。

□ 「夢ギャラリー」

区内の学生を対象にパブリックスペースを会場とした発表の場を提供し、文化センターの賑わいを創設した。宮城県宮城野高等学校美術科の卒業制作展を行った。

■ フラットシアターフェスティバル【第3回】

障がいや年齢の違いを問わず、あらゆる子どもたちが舞台芸術や様々な表現を楽しめるイベントを関連団体との共催で開催した。

- ・実施日：令和6年9月14日(土)～15日(日)
- ・会場：宮城野区文化センター シアターホール他
- ・入場者数：延べ993人

ウ 若林区文化センター

令和5年4月1日から令和7年6月まで大規模改修工事に伴う休館中のため、ホールを使う自主事業については他の文化センターに会場を変更して開催を継続した。

■ 若林区童謡フェスティバル【第29回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2024】

幅広い世代に親しまれている童謡などの継承発展と地域の方々の交流促進を図るとともに、よりよい地域コミュニティづくりを推進することを目的として開催した。

- ・実施日：令和6年11月9日(土)
- ・会場：宮城野区文化センター パトナホール
- ・入場者数：延べ400名
- ・出演者：るるる^んハーモニー、聖和学園高等学校合唱部、若林混声合唱団、仙台市立原町小学校 柿の木合唱団、宮城県仙台二華中学校・高等学校音楽部、コールはまなす、仙台童謡愛好会 HAPPY RABBIT 計7団体(101名)

■ 春の折り紙飾り展

「春の飾り」を共通テーマに設け、若林区中央市民センターを利用している折り紙サークルに声掛けして、1階ロビー図書館側に設置しているパネルを利用し、折り紙の作品展示を行い、春の文化センターに賑わいを演出した。

- ・実施日：令和6年4月16日(火)～5月26日(日)

■ デイサービスセンター合同作品展

区内にあるデイサービス施設2か所と共催し、デイサービスの活動で制作された作品の展示を行った。期間中デイサービス施設の作品展示入れ替えを行い、デイサービス利用者の作品をじっくり鑑賞できるよう工夫した。

また、デイサービス作品展に連動する企画講座として、介護予防関連の情報提供や専門家の講話、フレイル予防、長寿・生きがい等に関する図書の紹介等を、図書館・地域包括支援センターと連携し行った。

- ・実施日：①令和7年1月28日(火)～2月9日(日)
②令和7年2月11日(火)～2月24日(月)
※連動企画講座は令和7年2月20日(木)に開催。
- ・来場者数：延べ1,000名(連動企画講座参加者12名)

エ 太白区文化センター

■ 長町から JAZZ に触れるクリニック&コンサート【第4回】

太白区内の学校の吹奏楽部を対象に、技術の向上と参加団体同士の交流を図ることを目的として地元アーティストによるミュージッククリニックを実施した。また、クリニック終了後には、指導を行った地元アーティスト出演の、気軽に楽しんでもいただけるジャズコンサートを開催した。

- ・実施日：令和6年9月21日(土)
- ・会場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- 【ミュージッククリニック】
- ・参加団体：八木山バンドサークル“夢色音楽隊” 30名
- 【ジャズコンサート】
- ・出演者：熊谷駿(サクソ)、山中理絵(ピアノ)、座小田諒一(ベース)、今村陽太郎(ドラム)

- ・入 場 料 : 1,000 円
- ・入場者数 : 541 名

■ 楽楽楽ステージパフォーマンス 2024【第 12 回】

可変式の楽楽楽ホールの特徴を活かし、三方から観覧できるパフォーマンスに最適なオープンステージを使用し、出演者と来場者が一体となって楽しめるステージイベントを開催した。地域や文化センターで活動している団体が出演し、ビッグバンドやダンス等、多彩なパフォーマンスを披露した。

- ・実 施 日 : 令和 6 年 11 月 10 日(日)
- ・会 場 : 太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体 : 計 5 団体 (150 名)
八木山バンドサークル“夢色音楽隊”、藤井かおるフラメンコスタジオ、聖和学園高等学校チアリーディング部フェニックス、夢祭連粋楽、リトルスターバトン
- ・入場者数 : 443 名
- ・協力 : 宮城県仙台西高等学校 放送部

■ 楽楽楽文化祭 2024～「楽しいこといっぱい」の一日～【第 8 回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2024】

社会と障がいのある方との関わりを、アートを通して支援している団体と協力し、来館した誰もが気軽に多様な文化芸術に親しみ、体感することを目的として実施した。障がい者や乳幼児親子、高齢者、性別や年齢を問わず、会場に来た方々が楽しめるワークショップ等を開催した。

- ・実 施 日 : 令和 6 年 12 月 22 日(日)
- ・会 場 : 太白区文化センター
楽楽楽ホール:「冬のひだまりコンサート」
ホワイエ:「楽楽楽マルシェ！」
展示ホール:「みんなのやりたいをかたちにするワークショップ『やりたいことおしえて!』」
音楽練習室 1:「楽楽楽多文化映像祭」
- ・共 催 : 一般社団法人アート・インクルージョン、特定非営利活動法人ほっぷの森
- ・入場者数 : 540 名

■ 楽楽楽ミュージックフェスティバル 2025【第 12 回】

地域文化の向上を図るため、太白区内の小中高生や、地域で活動している音楽サークル団体に、成果発表の機会と交流の場を提供した。併せて、運営面においても地域の実行委員会や共催団体の方々と連携し、一体となってイベントを作り上げた。

- ・実 施 日 : 令和 7 年 1 月 25 日(土)
- ・会 場 : 太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・出演団体 : 第 1 部(合唱編) 10 団体
第 2 部(吹奏楽編) 20 団体
- ・入場者数 : 延べ 1,420 名
- ・主 催 : 楽楽楽ミュージックフェスティバル実行委員会
- ・共 催 : 宮城県合唱連盟、太白区民合唱祭実行委員会、宮城県仙台太白地区吹奏楽連盟

■ ミニギャラリー展示

1階エントランスの掲示スペースを「太白区文化センターミニギャラリー」とし、文化センターや市民センターで活動する文化系サークル団体の絵画や書道等の作品を展示した。併せて、財団の運営する児童館や近隣団体等と連携し、来館者に楽しんでいただける場づくりや地域の情報発信を行った。

- ・実施回数：年9回

(主な展示)

□絵画サークル「植物画を書く会」

- ・実施日：令和6年5月30日(木)～6月9日(日)

□折り紙サークル「仙台七夕づくり応援隊」

- ・実施日：令和6年10月1日(火)～16日(水)

■ 夏休み企画「ほしひろば」

文化センターを身近に感じてもらえるよう、夏休み期間に合わせて地域の親子連れや児童館に来館している小学生を対象として、誰でも簡単に取り組むことができる工作ワークショップを実施した。

- ・実施日：令和6年8月5日(月)
- ・会場：太白区文化センター 1階エントランススペース
- ・共催：長町児童館
- ・参加者数：49名

オ 広瀬文化センター

■ 広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～【第4回】

【ひと☆まち CONNECT selection program2024】

宮城広瀬高等学校演劇部の卒業生を中心に結成され、現在では国内外で高く評価されている白Aのプロデュースによるステージイベントを、併設施設の広瀬市民センターとの共催で開催した。

ステージイベントの開催に先立ち、広瀬市民センター、落合市民センター及び栗生児童館と連携し、4館共催事業「OK!わくわくキッズアカデミー」として「アート作品づくりワークショップ」を開催したほか、仙台市立仙台高等学校ダンス部、社会福祉法人 恵萩会 落合はぐくみこども園と連携して「ダンスワークショップ」を開催し、各ワークショップで創り上げた作品をステージイベントで披露するなど、参加者とともにイベントを創り上げた。

□ダンスワークショップ

仙台高等学校ダンス部

- ・実施日：令和6年5月21日(火) 他9日間
- ・参加者数：延べ223名(全10回)

落合はぐくみこども園

- ・実施日：令和6年10月7日(月) 他2日間
- ・参加者数：延べ114名(全3回)

□アート作品づくりワークショップ ※「OK!わくわくキッズアカデミー」として開催

- ・実施日：令和6年11月16日(土)
- ・会場：落合市民センター ホール、和室1・2
- ・参加者数：58名

□ステージイベント

- ・実施日：令和6年12月1日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・入場者数：延べ480名
- ・出演団体：パフォーマンス集団「白A」、仙台市立仙台高等学校ダンス部
社会福祉法人 恵萩会 落合はぐくみこども園

■ ひろせサマーナイトコンサート2024 & 民俗芸能フェスティバル【第15回】

新旧住民の交流促進や魅力ある地域コミュニティづくりに資することを目的に、併設施設の広瀬市民センターとの共催で、夏の夜のイベントを開催した。

令和6年度は、これまで屋外特設ステージで開催していたステージ発表を、近年の猛暑をふまえ、会場を屋外特設ステージからホールに移し、ジュニアリーダーの司会のもとで、施設利用団体によるステージのほか、新たに地域に所縁のあるプロの演者等による楽器演奏やダンス等のスペシャルステージを加えて開催した。また、地域の町内会及び自治会のほか、福祉団体や各種団体の協力のもと、屋台等による飲食提供や子ども達のお楽しみコーナーを設け、地域の人々が交流する機会となった。

- ・実施日：令和6年8月4日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール、ホワイエ、屋外駐車場 他
- ・ステージ出演団体：第1部(プロによるスペシャルステージ)

M-duo(ヴァイオリン・ピアノ)、FEEK ON(篠笛・キーボード)、
三絃小田島流 織江響(三味線)、しまひろこ(キーボード弾語り)、
長谷川康トリオ(ヴァイオリン・オーボエ・ピアノ)、
小夜(フラメンコ)

第2部(アマチュア団体によるステージ)

7団体(ひろせすずめっ子、みやぎ龍神太鼓 他)

- ・ステージ司会：ジュニアリーダーMRVC くまっこ
- ・入場者数：延べ3,500名

■ ミュージックフェスティバル2025 広瀬のひびき【第24回】

地域の合唱団体や吹奏楽団体等が出演する音楽祭を開催し、文化センターを拠点とした「文化的つながり」と「人と人とのつながり」を創出するとともに、発表や鑑賞機会の提供による地域の文化芸術の向上と市民の交流を図ることを目的に、広瀬のひびき実行委員会との共催で開催した。

- ・実施日：令和7年1月26日(日)
- ・出演団体：第1部(合唱編) 4団体
第2部(吹奏楽編) 6団体
- ・司会：ジュニアリーダーMRVC くまっこ
- ・入場者数：延べ800名

■ ひろせワクワクシアター【第11回】

魅力ある映画作品を家族や友人と一緒に鑑賞する楽しみを通じて、地域における文化の振興や、市民の教養・レクリエーション等に資することを目的に、併設施設の広瀬図書館との共催で開催した。

- ・実施日：令和6年8月18日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール

- ・上映作品：「ミニオンズフィーバー」
- ・入場者数：延べ 370 名(全 2 回)

■ ひろせの森クリスマスワークショップ「～親子で作ろうキラキラスノードーム&ミニおはなし会～」【第3回】

次世代につなぐ魅力ある地域コミュニティの創造を目指し、併設施設の広瀬市民センターと広瀬図書館との3館共催で開催した。親子参加型の作品づくりとして「スノードーム作り」およびミニおはなし会を実施した。その他、施設内に自由工作コーナーを設け、来館者が気軽に季節を楽しめるよう実施した。

- ・実施日：令和6年12月22日(日)
- ・会場：広瀬市民センター セミナー室A・B、和室1・2
2階オープンスペース

- ・参加者数：延べ 444 名

■ 一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2024【第11回】

ロビー等の空間を活用しながら、地域の団体に日ごろの活動の成果発表の機会を提供することを目的に、近隣の高等学校や高等専門学校等と連携して写真展を開催した。

- ・実施日：令和6年12月3日(火)～12月15日(日)
- ・会場：広瀬文化センター 1階ロビー 他
- ・出展団体：5団体(宮城県宮城広瀬高等学校写真部 他)
- ・来場者数：延べ 1,647 名

■ 親子映画観賞会【第1回】

宮城地区まつり開催日において、魅力ある映画作品を家族や友人と一緒に鑑賞する楽しみを通じて、地域における文化の振興や、市民の教養・レクリエーション等に資することを目的に、併設施設の広瀬市民センターとの共催で開催した。

- ・実施日：令和6年10月27日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・上映作品：「日本の昔ばなし」
- ・入場者数：延べ 300 名

■ みやぎ学習フェア

主に愛子、大沢、落合、宮城西地区の生涯学習の振興を図るとともに、日頃の活動の成果発表の機会を提供することを目的に、みやぎ学習フェア実行委員会や市民センター4施設(広瀬・宮城西・大沢・落合)との共催で開催した。

- ・実施日：令和6年11月10日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・出演団体：24 団体
- ・入場者数：延べ 850 名

■ ひろせクリスマス映画会【第1回】

ひろせの森クリスマスワークショップ開催日において、魅力ある映画作品を家族や友人と一緒に鑑賞する楽しみを通じて、地域における文化の振興や、市民の教養・レクリエーション等に資することを目的に開催した。

- ・実施日：令和6年12月22日(日)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・上映作品：「ナイトメアー・ビフォア・クリスマス」
- ・入場者数：延べ 223 名

■ 賑わい空間創出事業

年間を通じて季節を楽しめる館内外の装飾等を行い、明るく親しみやすく、入館しやすい施設とすることを目的に、併設施設の広瀬市民センターとの共催で開催した。季節に因んだ装飾とともに、作品づくりや作品展示を内容とするワークショップ等を実施した。また、参加者による装飾への作品展示により、施設が華やかに彩られた。

令和6年度は、こいのぼりや七夕等の季節の展示を3事業、季節の装飾を施したワークショップを11事業、季節に因んだ工作コーナーを1事業開催した。

(主なワークショップ)

□ひろせの森～カラフルこいのぼりを作ろう！～

・実施日：令和6年4月26日(金)～5月6日(月)

□ひろせの森～オリジナルてるてるぼうずを作ろう！～

・実施日：令和6年6月11日(火)～23日(日) 他

■ 「マイステージ in ひろせ」「マイギャラリー in ひろせ」

2階オープンステージを活用する「マイステージ in ひろせ」と、1階ロビーや2階オープンスペースを活用する「マイギャラリー in ひろせ」を通年開催し、令和6年度は、自主事業「撮る・観る・想う」PHOTO HIROSE 2024や「賑わい空間創出事業」を開催したほか、サークル団体や地域の中学校、併設施設の作品展示等を12事業開催した。

(主な展示等)

・広瀬図書館「小説と歌謡曲による二十世紀の事件学」

令和6年7月15日(月)～7月30日(火)

・広瀬中学校等5校特別支援教室「はばたけ展」

令和7年2月8日(土)～2月21日(金)

カ ヒト☆まち CONNECT selection program 2024

戦災復興記念館と文化センターにおいて、それぞれの特色と組織力を活かし、文化事業の魅力をより身近に体感できるイベントをリレー形式で開催し、財団の他の事業にも関心を広げてもらう機会とした。

■ 若林区文化センター 令和6年11月9日(土)

第29回若林区童謡フェスティバル ～ハーモニー in PaToNa～

■ 戦災復興記念館 令和6年11月10日(日)

第4回仙台いぐすか寄席

■ 広瀬文化センター 令和6年12月1日(日)

第4回広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～

■ 太白区文化センター 令和6年12月22日(日)

第8回楽楽楽文化祭2024 ～「楽しいこといっぱい」の一日～

■ 宮城野区文化センター 令和7年1月30日(木)

第59回ワンコインコンサート ～クラリネットとピアノで心温まるひとときを～

② 文化活動拠点施設等の運営及び文化活動の育成支援事業

ア 地域文化活動拠点施設等の管理運営

仙台市内にある数多くの文化芸術団体等に対して、練習や発表の場を提供し、文化芸術の向上が図られるよう、文化センター等のホールや会議室等を利用に供するなどの施設運営を行った。

(主な事業)

- 戦災復興記念館運営
- 宮城野区文化センター運営
- 若林区文化センター運営
- 太白区文化センター運営
- 広瀬文化センター運営

[文化センター等の利用件数・利用率]

		利用件数			利用率		
		6年度 (件)	5年度 (件)	前年度比	6年度 (%)	5年度 (%)	増 減
戦災復興 記念館	記念ホール	256	245	104.5%	69.9	62.5	7.4
	展示ホール・会議室等	3,216	2,933	109.6%	67.5	60.4	7.1
宮城野区 文化センター	コンサートホール	309	306	101.0%	75.5	72.4	3.1
	シアターホール	222	227	97.8%	56.6	60.2	△ 3.6
	リハーサル室等	3,408	3,509	97.1%	96.7	95.9	0.8
若林区 文化センター	ホール	-	-	-	-	-	-
	展示ホール等	-	-	-	-	-	-
太白区 文化センター	楽楽楽ホール	227	242	93.8%	65.6	68.9	△ 3.3
	展示ホール等	3,919	4,082	96.0%	92.9	92.0	0.9
広瀬 文化センター	ホール	232	228	101.8%	62.6	58.6	4.0
	リハーサル室	907	938	96.7%	94.7	97.4	△ 2.7

※備考

・利用件数 部屋毎、日毎に算出

・利用率 総利用日数÷総開館日数

(総利用日数＝各室利用日数の合計)

(総開館日数＝各室利用可能日数の合計)

※若林区文化センター ホール: R5. 4. 1～大規模改修工事による休館

イ 文化活動育成支援事業

発表の場における効果的な演出のアドバイスや、日頃の活動を把握して他の団体との連携をコーディネートする等、利用者の技術の向上に寄与できるよう取り組んだ。また、若年層を対象とした照明・音響・舞台機構等の操作を体験できる機会を提供し、若い世代の文化の担い手育成に取り組んだ。

(主な事業)

戦災復興記念館

■ 戦災復興記念館バックステージツアー2025 ～我らステージ探検隊～

小中学生を対象に、舞台芸術に興味・関心を持つきっかけづくりとして、好奇心をかきたてる“仕掛け”を施した舞台裏の見学体験ツアーを実施した。照明や音響設備に触れることにより、ステージに対しての興味を持ってもらい、舞台の素晴らしさを体感してもらう目的のもと開催した。

- ・日 時：令和7年1月18日（土）
- ・会 場：戦災復興記念館 記念ホール
- ・参加者数：6名（学生：3名，大人3名）

宮城野区文化センター

■ 舞台スタッフラボ【第13回】

アマチュア演劇等の担い手の育成を目的として、せんだい演劇工房10-BOXとの共催で照明、音響、舞台制作等の演劇に関するスタッフワークを体験しながら、舞台技術の豊かさと表現の楽しさを味わう講座を実施した。また、集大成として演劇ワークショップと連携し、演劇公演を開催した。

- ・実施日：令和7年2月1日(土) ガイダンス・台本の読み方・稽古見学
(基礎・発展コース共通)

令和7年2月2日(日)～2月7日(金) (基礎コース)

令和7年2月8日(土)～2月16日(日) (発展コース)

- ・会 場：宮城野区文化センター シアターホール他
- ・参加者数：延べ146名

最終日の2月16日には、「みやぶん演劇学校」参加者が出演するステージ「舞台スタッフラボ2024×みやぶん演劇学校 Tale Soup ～お話のいっぱい詰まったスープを召し上がれ～」を上演した。

(2回公演・入場者数：延べ115名)

■ 冬の親子ステージ探検隊「みんなで劇場を探検してみよう！」【第12回】

冬休みの小中高生親子を対象に、舞台芸術に興味を持つきっかけと、思い出づくりの場を提供するため、体を使った表現活動に関するワークショップと照明や音響機器の操作等の舞台技術を体験するワークショップを開催した。

- ・実施日：令和7年1月13日(月・祝)
- ・会 場：宮城野区文化センター シアターホール
- ・参加者数：5組13名

太白区文化センター

■ ホールのうらがわ探検ツアー

地域の小学生を対象に、舞台への興味・関心を持つきっかけづくりと地域文化施設としての楽楽楽ホールの特性を知ってもらうことを目的として、照明・音響設備等を操作体験するバックステージツアーを開催した。

- ・実施日：令和6年7月28日（日）
- ・会 場：太白区文化センター 楽楽楽ホール
- ・参加者数：30名

広瀬文化センター

■ バックヤードツアー【第9回】

文化センターホールの舞台裏を公開することで、市民の方々が舞台芸術に触れ、施設をさらに知っていただく機会とすることを目的に開催した。

- ・実施日：令和6年11月2日(土)
- ・会場：広瀬文化センター ホール
- ・参加者数：18名

■ わくわく体験！音ってなあに？光ってなあに？【第4回】

コンサートホールの基幹設備である照明と音響の基礎知識を知ってもらい、舞台芸術に興味を持ってもらうきっかけとすることを目的に、近隣の児童館と連携し、利用児童を対象として実施した。

- ・実施日：令和6年12月21日(土)
- ・会場：愛子児童館 遊戯室
- ・参加者数：16名

③ 地域の歴史に関する伝承事業

地域の人々の生きた歴史や文化を知ることによって地域住民の連帯感の醸成を促し、未来を担う次世代へそれらをつなげていくために、仙台市の戦災復興の歴史を中心としてこれらを語り継ぐ事業を実施した。

ア 戦災と復興に関する資料収集と伝承活動

戦災復興記念館内にある写真や図書、資料等を適切に保管しながら、資料展示室の運営や宮城野文化センター・太白区文化センターにおける出張展示、貸出等による伝承活動を行った。

イ 地域における戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業

学校や市民センター等と連携し、職員やボランティアによる資料展示室の収蔵品の解説や戦災体験談等を行い、次世代に戦災と復興の歴史を語り継ぐ事業を実施した。

ウ 戦災復興展の開催

当時の人々の暮らしや思いを知り、復興を遂げた仙台の歴史を振り返る機会として、仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催し、語り部による空襲体験談の発表や平和祈念コンサートを行った。また、令和6年度は企画展として、東北大学や仙台・空襲研究会のパネル発表や漫画パネル展、平和祈念コンサート等を実施した。

- ・開催日：令和6年7月6日（土）～7月14日（日）
- ・会場：仙台市戦災復興記念館
- ・入場者数：延べ2,454名（大人1,999名 中学生以下455名）
- ・内容：企画展等の展示 7企画

コンサート	2公演	入場者数延べ727名
講演会	1講演	入場者数延べ107名
空襲体験談	4講演	入場者数延べ324名
平和学習	1回	受講者数延べ271名
紙芝居上演	2本	入場者数延べ74名
朗読会	1講演	入場者数235名
街歩き	1回	参加者数15名
ワークショップ	1回	参加者数7名（別日実施）

エ 平和学習・出前講座の実施

修学旅行や校外学習等で来館した小中高生にDVD「仙台と空襲」を視聴してもらい、職員やボランティアによる講話や戦災体験談、資料展示室の見学等の平和学習を実施した。また、市内の小・中学校の授業や市民センター等に出向く「出前講座」を実施し、戦中戦後の地域の様子や生活、仙台空襲や当時の生活様式について解説した。

市内小中学校・高校、県内外小中学校等 計45団体 計2,606名

④ 地域の文化情報等の提供・相談事業

仙台市の刊行物や観光パンフレットなどの市政全般に関する資料の収集・提供等に併せて、独自で収集した地域イベント、歴史、文化に係る資料等を宮城野区・太白区・若林区文化センター内に設置された情報センターにおいて提供した。

また、市民のコミュニティ活動に関する問い合わせや地域で抱える問題等について、市政情報を活用した相談事業を行った。なお、若林区文化センターは、令和7年6月まで大規模改修工事中であり、事務所を若林区中央市民センター別棟に移し、仮事務所により運用していた令和6年6月から令和7年1月20日までの期間においては、情報センターの業務について、規模を縮小し、有償刊行物販売等の限定的な提供を行った。

	宮城野区情報センター			若林区情報センター			太白区情報センター		
	6年度	5年度	前年度比	6年度	5年度	前年度比	6年度	5年度	前年度比
相談件数	75	47	159.6%	46	90	51.1%	504	441	114.3%
閲覧者数	10,343	8,586	120.5%	4,667	8,558	54.5%	19,485	19,419	100.3%
貸出冊数	3	0	-	-	3	0.0%	18	20	90.0%
販売冊数	34	80	42.5%	37	49	75.5%	69	109	63.3%

(4) 地域コミュニティまつり支援事業（定款第4条第1項第1号の事業）

① 地域コミュニティまつり助成事業

地域づくりの基礎となるお互いの連帯感や共同意識、信頼関係を築くための共通の活動や経験の場として、また、地域住民の交流促進を図るために、仙台市内の町内会などが企画・実施するコミュニティまつりの経費の一部を、世帯区分に応じた金額で助成した。

助成件数 394 件、助成金額 12,674,079 円

		青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	合計
助成 件数 (件)	6年度	108	86	45	93	62	394
	5年度	95	82	34	86	60	357
前年度比		113.7%	104.9%	132.4%	108.1%	103.3%	110.4%
助成 金額 (千円)	6年度	3,452	2,738	1,466	2,946	2,072	12,674
	5年度	3,658	3,176	1,354	3,316	2,356	13,860
前年度比		94.4%	86.2%	108.3%	88.8%	87.9%	91.4%

② 地域コミュニティまつり相談・支援事業

コロナ禍におけるコミュニティまつりの実施内容などについて相談を受け、他団体事例等の情報を提供するなどして、コミュニティまつりの実施を通じた地域づくりを支援した。

(5) 交通の安全確保による地域コミュニティづくり支援事業

（定款第4条第1項第6号の事業）

① 幼児・児童・保護者・高齢者に対する交通安全教育事業

安全・安心で住みよい地域社会づくりのために、交通事故防止と交通ルール順守及びマナーの向上をめざして、市内の幼稚園・保育所や児童館等において、幼児・児童と保護者を対象とした交通安全教育を実施した。また市民センターの老壮大学や各地区老人クラブ、社会福祉協議会、市内町内会等からの依頼を受けて、全交通事故死者の約半数を占める高齢者を対象とした交通安全教育を実施した。

なお、交通安全教育の総実施回数は前年度に比べやや減少したものの、新型コロナウイルスの感染が落ち着いたことから、参加者数は増加傾向にある。

【交通安全教育の活動実績】

区分	実施回数					参加人数				
	幼児等	児童	保護者	高齢者	計	幼児等	児童	保護者	高齢者	計
6年度	237	8	17	21	283	12,289	425	86	482	13,282
5年度	254	8	16	25	303	11,107	407	79	684	12,277
前年度比	93.3%	100.0%	106.3%	84.0%	93.4%	110.6%	104.4%	108.9%	70.5%	108.2%

② 各種イベントと連携した交通安全教育事業

宮城県警察本部、市内各警察署、市内各地区交通安全協会等の各種交通安全活動推団体等と連携し、春・秋に開催された「交通安全県民総ぐるみ運動」や一番町四丁目商店街主催の「交通安全わいわい広場」、仙台リビング新聞社主催の「ファミリーフェス2024」等に参加し、各種の交通安全広報啓発キャンペーンを実施した。また、YouTubeを活用し、オリジナル交通安全キャラクター「ピタッとびーた」等を活用した交通安全啓発活動動画8編を新たに配信した。

③ 自転車の安全利用啓発及び違法駐車等防止に関する事業

「仙台市自転車の安全利用に関する条例」に基づき、市内中心部アーケード内等において、自転車の安全利用に関する助言・啓発活動を実施した。また、道路が公共の施設として広く一般交通の用に供されることを確保し、もって市民の安全で快適な生活環境の保持及び向上に資するため、仙台市の違法駐車防止重点地域において、違法駐車等防止の助言・啓発活動を実施した。

【自転車安全利用の助言・啓発活動実績】

区 分	活動回数	助言件数
6年度	273	188
5年度	295	207
前年度比	92.5%	90.8%

【違法駐車等防止活動実績】

区 分	活動回数	助言件数	移動件数	移動率
6年度	92	1,071	236	22.0%
5年度	99	1,230	324	26.3%
前年度比	92.9%	87.1%	72.8%	-4.3%

2 地域コミュニティ活動支援のその他公益目的事業の推進に資する事業

(定款第4条第1項第2号及び第3号の事業)

【収1】費用：176,012千円

地域にある多種多様な団体が安全・安心・快適に活動できるよう、地域・文化活動拠点施設等の維持管理及び運営を適切に行い、ホールや会議室等を利用に供した。その際に、公益目的の利用が見込まれない場合に限り、公益目的利用以外の施設の貸与等を行った。

3 勤労者の福祉の向上に資する事業(定款第4条第1項第7号の事業)

【他1】費用：241,278千円

仙台市内の中小企業に勤める勤労者、事業主に対して、生活の安定と福祉の増進に寄与するため、勤労者福祉増進事業(グリーン・パル事業)を実施した。Webを利用した市内飲食店利用補助や、ご家族でお楽しみいただけるギフトカード・地場産品割引販売(福袋企画)など、新たな手法を用い、工夫しながら取り組んだ。

(事業所及び会員数)

区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
年度末事業所数	837	835	100.2%
年度末会員数	23,494	23,643	99.4%

(1) 在職中の生活安定に係る事業

会員やその家族の祝い事への各種祝金、見舞金などを給付するとともに、教育資金の融資や負担の少ない掛金での共済を紹介するなど、生活安定に係わる事業を実施した。

事業名	区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
共済事業	給付件数	6,044	5,852	103.3%
	給付額(千円)	97,146	94,570	102.7%
融資紹介事業	利用件数	2	1	200.0%
	保証料補給額(千円)	11.8	0.4	2,950.0%
グリーン・パル 生命共済事業	利用件数	5	6	83.3%

(2) 余暇活動に係る事業

レジャー施設、指定店、各種チケットの割引販売、委託保養所利用助成、会員生活応援のギフトカード・地場産品割引販売（福袋企画）などの主催事業を実施した。

事業名	区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度比
委託保養所 宿泊施設 紹介事業	利用者数	871	992	87.8%
	助成金額(千円)	1,766	2,032	87.0%
余暇活動 主催事業	開催数	46	41	112.2%
	参加者数	21,862	16,738	130.6%

(3) 健康維持増進に係る事業

人間ドック受診料、インフルエンザ予防接種費用などの一部助成、スポーツクラブ施設利用時の会員証提示による割引利用助成などを実施した。

事業名	区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度比
人間ドック等 利用助成事業	助成件数	252	226	111.5%
	助成金額(千円)	1,694	1,526	111.0%
健康維持増進 主催事業	開催数	1	2	50.0%
	参加者数	162	7	2,314.3%

(4) 自己啓発に係る事業

会員の技能習得、目的にあったスキルアップなど、各種スクール受講料、国家資格取得受験料への助成を実施した。

事業名	区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度比
自己啓発 主催事業	開催数	17	19	89.5%
	参加者数	491	521	94.2%
国家資格取得 等助成事業	利用者数	371	329	112.8%
	助成金額(千円)	1,837	1,624	113.1%

(5) 老後生活の安定・財産形成に係る事業

会員が将来に備えるための年金・定年退職セミナーや資産形成運用セミナーを実施した。

事業名	区 分	令和6年度	令和5年度	前年度比
老後生活・ 財産形成 主催事業	開催数	3	2	150.0%
	参加者数	45	60	75.0%
個人年金共済 紹介事業	利用件数	79	82	96.3%

(6) 情報提供事業

各種サービス内容や手続方法などが、分かりやすく利用しやすいように「グリーン・パルだより」や「ガイドブック」を発行した。さらに、ホームページやYouTube、SNS（LINE、Facebook、X）を活用して最新情報をいち早く提供するように努めた。

また、会員獲得に向けて、会員拡大支援員の導入による訪問営業や市広報紙・事業者説明会などでのPR、会員紹介キャンペーンなどの勧誘活動に取り組んだ。

(事業例)

- グリーン・パルだよりの発行 年8回
- ガイドブックの発行 年1回(4月)